

令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 京都府立須知高等学校 】

1 実践テーマ	【 II・V 】
2 実施対象者	京都府立須知高等学校 1年：4名、2年：9名、3年：5名 京丹波町立中学校ホッケー部員：11名 合計 29名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① その他（部活動）
4 目標 (ねらい)	1 生徒一人一人がスポーツの価値に気付かせるとともに、生涯スポーツの基盤を育成するとともにスポーツをとおして地域の活性化を図る。 2 障害者スポーツ等のボランティアに積極的に参加することで、自己肯定感を醸成させる。
5 取組内容	1 中学生ホッケー教室（中高連携事業） (1) 日 時：令和3年11月27日（土） 午前9時から正午まで (2) 場 所：グリーンランドみずほ ホッケー場 (3) 参加者：京都府立須知高等学校ホッケー部員（18名） 京丹波町立瑞穂中学生（11名） (4) 内 容：丹波地域内にある中学校・高等学校ホッケー部に所属する中学生、高校生を対象に、中学生競技である11人制ホッケー競技の強化練習会を実施した。 
6 主な成果	今年度も、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、計画通りの活動に取り組むことはできなかった。 地域のスポーツとして振興しているホッケー競技で実施した中学生と高校生の交流活動は、スポーツの価値を理解するとともに、スポーツに対する興味や関心を一層高め、地域のスポーツ振興・発展に貢献することができたと考える。 また、12月に予定していた全校生徒を対象にした清掃ボランティア活動は、雨天のため中止となった。しかし今後、部活動単位で学校周辺の清掃ボランティア活動を実施する予定となった。ボラ

	ンティア活動を通して地域の一員としての自覚を高めるとともに、達成感や充実感を得ることで、自己肯定感を高めていきたい。
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	中高連携事業では、コロナ禍により実施可能な期間が制限されたが、中学校の協力もありどうにか実施できた。
8 主な課題等	今年度は、新型コロナウイルス感染症の急拡大に伴い教育活動が制限された。今後 with コロナを前提とした計画の見直しが必要であり、また、感染対策を十分講じた実施方法を更に検討する必要もある。
9 来年度以降 の実施予定	京丹波町内で開催されるスポーツの大会にはボランティアとして運動部員全員が参加していきたい。 また、地域スポーツであるホッケー競技の振興や発展に貢献していきたい。